

# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 4月分

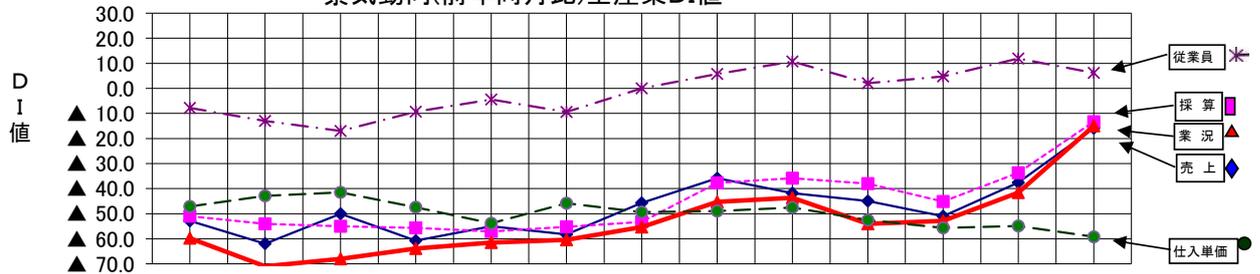
## 【4月の概要】

### DI値は改善傾向にあるも、新型コロナ第4波で先行き不透明 ワクチン接種の遅れ懸念する声も

業況判断DIは先月に引き続き、「売上」「採算」「業況」で上昇幅が顕著で、20ポイント以上の改善となった。先行き見通しについても「売上」「採算」「業況」で10ポイント以上の改善となっている。一方で、仕入単価については、業況判断DI・先行き見通しDIいずれも悪化した。

寄せられたコメントでは、新型コロナ第4波の影響により今後の見通しを危惧する意見が圧倒的で、まだまだ先行きの明るさが見えない状況といえる。頼みのワクチン接種が進まないことで、不安を増幅させている。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2020年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2021年4月
売上	▲52.9	▲62.0	▲50.0	▲60.8	▲55.0	▲58.3	▲45.7	▲35.9	▲41.8	▲45.0	▲51.0	▲37.6	▲15.9
採算	▲51.0	▲54.0	▲55.0	▲55.7	▲57.1	▲55.2	▲53.3	▲37.7	▲35.9	▲38.0	▲45.2	▲33.7	▲13.3
業況	▲59.8	▲71.0	▲68.0	▲63.9	▲61.5	▲60.4	▲55.4	▲45.3	▲43.7	▲54.0	▲52.9	▲41.6	▲15.0
仕入単価	▲47.1	▲42.9	▲41.5	▲47.4	▲53.8	▲45.8	▲49.4	▲49.0	▲47.5	▲52.5	▲55.7	▲54.9	▲59.2
従業員	▲7.8	▲13.0	▲17.0	▲9.3	▲4.4	▲9.4	0.0	5.7	10.7	2.0	4.8	11.9	6.2

- ・マイナス幅が減少したDI値：売上21.7ポイント、採算20.4ポイント、業況26.6ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：仕入単価4.3ポイント
- ・プラス幅が減少したDI値：従業員5.7ポイント

## 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
2月	▲15.4	▲24.0	▲29.8	▲23.1	4.8
3月	▲18.8	▲25.7	▲24.8	▲17.8	2.0
4月	▲5.3	▲8.0	▲7.1	▲26.6	5.3

- ・見通しが改善したDI値：売上13.5ポイント、採算17.7ポイント、業況17.7ポイント、従業員3.3ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：仕入単価8.8ポイント

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	住宅機器	需要のある首都圏等への傾斜を進めている中、新型コロナによる今後の影響を非常に懸念。
	ゼネコン	コロナ第4波への警戒心が営業活動を萎縮させている。大型会議や出張等は自粛を継続。
製造業	印刷	県内の感染者数増加によるイベント等の中止や延期で、売上減少は避けられない。
	鉄鋼	材料価格が上昇傾向。上昇幅に不安あり。今後の動向が懸念される。
卸売業	商社	昨年は新型コロナ関係の売上が増加したが今期はそれが無い。但し、採算見通しは順調と考えられる。
	青果	昨年のような巣ごもり消費需要もさほど期待できず、また、依然として業務需要の回復が見通せない。
小売業	生花	3月は回復したように見えたものの、4月「まん延防止等重点措置」で、以前の状況に戻ったようだ。
サービス業	ビルメンテ	建物活用で仕事が発生する業種。宴会自粛等により受注減少傾向。
	広告	頼みのワクチン接種も先が見えず好転の兆しは感じられない。
	タクシー	歓送迎会自粛により売上減少。競馬開催が福島から新潟になったことで多少の稼働増に期待。